



ドリームパイプ (尺八) を子供達に

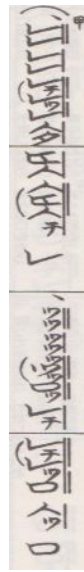


「フルートのつもりで吹けば、フルートの音色に、クラリネットのつもりで吹けばクラリネットの音色に」

空手の師範でもある矢田隆生さん（昭和18年生）は三味線を習ってきたお母さんから勧められて尺八を36歳から30年演奏して来ました。

尺八は日本の伝統的な楽器で木管楽器の一種です。江戸時代は尺八は法器として普化宗に属する虚無僧のみが演奏するものとされていきました。

尺八の名称は標準の管長が一尺八寸（約54.5cm）であることに由来します。音大の学生さん等若い人は、五線譜ですが、



和線譜ロツレチリという基本5音をもとにして、音色、リズム、メロディーを表現していきます。通常は真竹の根元を使い五孔三節のもので、1本5〜10万円、高価な尺八は40万円もします。

尺八の手孔は前面に4つ、背面に1つあり、すべての手孔塞いだときの音を筒音と呼びますが、これはその尺八で出す

ことのできる最低音です。声の高い人は1尺4寸と短く、男性の低い声には2尺1寸位と歌う人の声の高さに声に合わせて合わせて尺八の長さを変えて使い分けます。リコーダー（縦笛）は初心者でも簡単に音が出せますが尺八はフルートと同じく、奏者が空気を管に送って反響させないと音は出ません。音を出すには熟練が必要で、ある音から別の音に移る際に、尺八では徐々に指孔を抜けることで、滑らかに徐々に音程を変えながら移ります。腹式呼吸で音を出すので健康にも良く、課題をこなすという脳の活性化にもなります。また息の長い人、短い人それぞれ自分にあったフレーズ（歌詞の区切り）で吹けます。

- ① 知床の岬にはまなすの咲くころ
 - ② 知床の岬に、はまなすの、咲くころ
 - ③ 知床の、岬に、はまなすの、咲くころ
- ②が良いのですが、①でも③でも良いのです。

「子供達に尺八を伝えたい」

矢田さんは、第三瑞光小の子供達にけん玉を教えに行かれた時に、子供達にぜひ尺八を教えたいと思われたそうです。

高価な尺八を買わなくてもかかる費用は500円程度で水道管にドリルで穴を空け、歌口をパイプの繋ぎ手を使用して尺八と

同じ音色が出せません。普通の尺八と違って歌口一つで長さの違う尺八にはめて使えます。尺八はオーケストラでもギターでも合います。



現在では胡弓に替わり、

琴・三味線・尺八入り三曲合奏が一般的に普通に行われていますが、すまいるたうんふれあい亭では洋楽の中村さんのキーボードと宮本さんのハーモニカに矢田さんの尺八の三曲合奏が、参加者の皆さんの歌声に合わせて演奏されております。

懐メロから童謡まで、即興で味のある尺八の音色を奏でて下さっております。ご興味のある方は、すまいるたうんふれあい亭にいらして見て下さい。

申し込み問合せ
ドリームパイプ同好会
TEL & FAX 3891-0913
矢田隆生さん



すまいるたうんふれあい亭

6月6日(日) 12時半

南千住駅前ふれあい館3F和室 無料

問合せ090(2657)0300 鬼塚迄